

2 家族関係や友人関係に関する情報

交通事故で家族が亡くなった後には、家族関係や友人関係が事故前とは変化します。親子関係や友人関係が変化し、これまでの生活とは異なることとなるため、「誰とも関わりたくない」など、孤独感を強めることもあります。このような家族関係や友人関係に関する事柄について、必要とされる情報の概要と、それがどこから、いつ頃入手できることが期待されているのかについて説明します。

1 子どもの家族関係や友人関係の変化

交通事故で家族を亡くした子どもは、親との関係や友人との関係について悩みを抱えることも少なくありません。家族を亡くしたショックから、子どもの親は取り乱し、精神状態が混乱している場合がほとんどです。そのような状況にあって、家族の機能は、事故前と比べてかなり異なることになります。

また、友人関係については、友人のささいな言動に傷ついたり、友人がよそよそしくなったりするなど、事故前に比べて急に友人と距離を置くようになるケースもあります。

2 情報の入手方法

このように、事故後の家族関係や友人関係が変化することに対して、どのような問題が起きやすいのか、また、どのように対応すればよいのかといった情報は、このパンフレットの中にも記載しています（第1章及び第2章をご参照ください）。また、このパンフレットの他にも巻末に書籍やパンフレット、インターネットのウェブサイトを紹介していますので、ご活用ください。

そのようなことに対する情報の入手方法は、アンケート調査結果によると特に「同じような経験をした仲間」「学校の教師」「親」等から得られることが期待されています（図8をご参照ください）。このような情報は、同じような経験をした仲間からの情報であれば説得力もあり、また、子ども自身が困っていることなども素直に話せる可能性が高いと考えられます。公益財団法人交通遺児育英会において、同じような経験をした仲間との交流の場があります。また、同会のウェブサイトや、他にも民間の当事者団体があり、その中にも参考になることがあるかもしれません。団体等の詳細は、巻末の支援機関等一覧をご参照ください。

3 相談先について

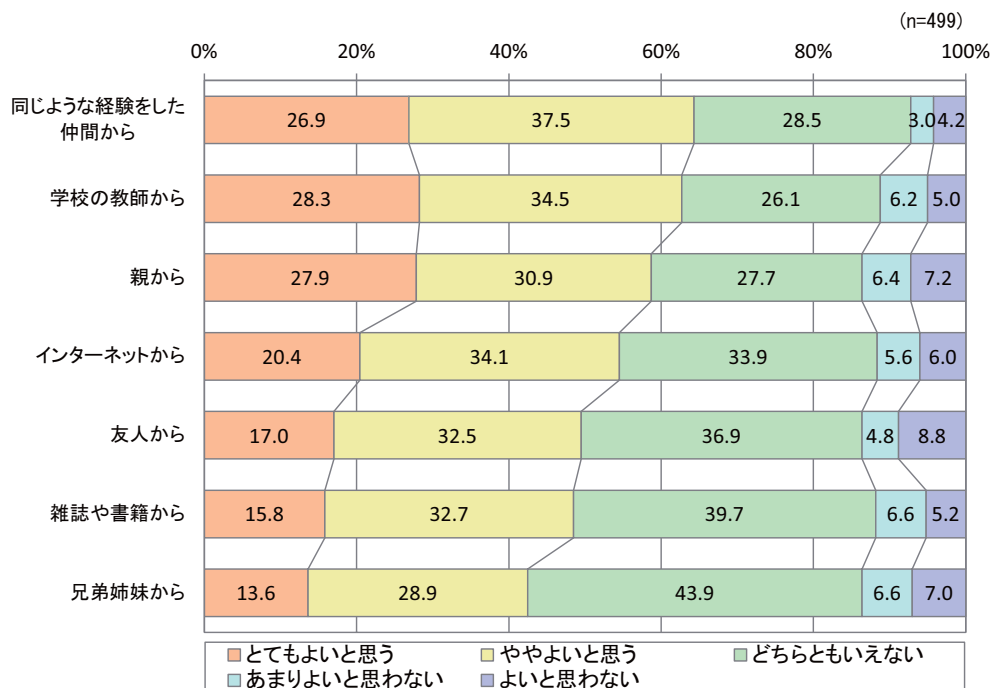
相談先については、専門家ではなくても、親や友人に話を聞いてもらうだけで、落ち着くこともあります。家族の問題について友人に聞いてもらったり、友人関係の問題について、親に聞いてもらうことが有効である場合もあります。

ただ、親や友人に相談することで、相手に負担をかけてしまうことになるとうれしさを、相談を躊躇する場合があります。また、信頼して話せる状態にないときもあります。そのような場合は、スクールカウンセラーなど、専門家に相談することをお勧めします。

アンケート結果グラフ

グラフは、「家族関係や友人関係に関する情報の取得先の希望」についての回答結果です。そのような情報は「同じような経験をした仲間」「学校の教師」「親」等から得られることが期待されているようです。

図8 家族関係や友人関係に関する情報の取得先の希望



平成 23 年度内閣府交通事故被害者サポート事業報告書 WEB 調査結果より